

SAM大阪支部 (10月例会) のご案内

日時	2024年10月9日 (水) 講話・質疑 15:00—16:30
会場	(学)産業能率大学 西日本事業部 会議室 大阪市北区小松原町2番4号 大阪富国生命ビル4階 (大阪メトロ 東梅田駅 徒歩5分)
講師	Touson自動車戦略研究所代表 自動車・環境技術戦略アナリスト、工学博士 藤村 俊夫 (ふじむら としお) 氏
講師略歴	1980年にトヨタ自動車工業(現トヨタ自動車) 入社。本社技術部にて31年間、新エンジンの開発推進、エンジンのシステム部品設計、パワートレイン戦略策定などに従事。 2011年に愛知工業大学に転出し、工学部機械学科教授として自動車工学関連の講義を担当。 2018年4月京都市へ転居と同時に同大学工学部客員教授となり、Touson自動車戦略研究所を立ち上げ、自動車関連企業数社の顧問をはじめ、コンサルティング、執筆・講演活動を行う。 著書に『EVシフトの危険な未来 2022年4月発刊』、『カーボンニュートラルを実現する自動車・エネルギー産業のあるべき「経営・開発」 2022年9月発刊』(共に日経BP)などがある。
演題	EVシフトは幻想だった！ 危うさをようやく認めたEV信奉メーカー
内容	自動車業界では、CO2削減の手段として「EV (電気自動車) シフト」が叫ばれ、中国をはじめとする各国の優遇措置により、販売は拡大してきました。但し、走行中に排出ガスが出ないという理由で、様々な課題に対する詳細な分析もなく、短絡的にEVを誘導することは愚策に他なりません。ここにきて、この指摘がようやく現実味を帯び、EVの販売は鈍化しています。 講演会では、EVはCO2削減目標達成の一手段となり得ても、顧客に対し価格を含め多くの負担を強いる製品にほかならず、2030年代までの最適解はHEV (ハイブリッド車) や PHEV (プラグインハイブリッド車) である理由を解説します。
会費	正会員 1,000円 ビジター 2,000円
通信欄	①お申込後に体調不良があった場合、ご一報いただきつつ、参加はご遠慮ください。 ②出欠のお返事は、 2024年10月6日 (日) までをお願いいたします。

ご案内と出欠の回答用紙を1枚にしております。

FAXのご返信は切らずにお送りください。メールでのご返信は [sanno-west@hj.sanno.ac.jp] 宛にお願いします。

SAM大阪支部 事務局 宛

FAX:06-6315-0331

月例会 出欠通知

(該当欄に✓印をお付けください)

ご出席

ご欠席

氏名: _____

ご連絡先【 _____ 】

通信欄: _____